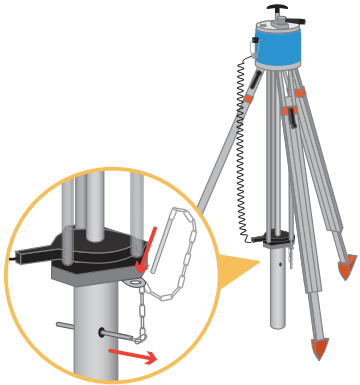


キャスポル クイックマニュアル【測定】

1 ランマー固定ピンを外す



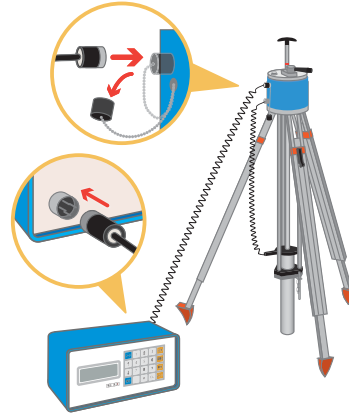
測定ポイントにキャスポルを選び、本体（三脚部）のランマー固定ピンを外します。抜いたピンは必ずピンホルダーに挿しておいて下さい。

2 本体（三脚）の水平を出す



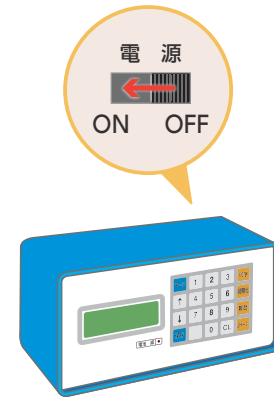
a ランマーシャフトの赤い線とブロック上面が一致するよう三脚を伸縮させながら、b 水準器で水平レベルを出し、c クランプで脚を固定します。

3 本体と表示器を接続する



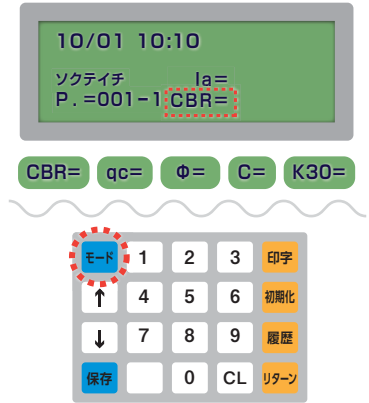
本体（三脚部）の検出器保護カバーを外し、コールコードで表示器と接続します。
(表示器の接続部は背面左下部にあります。)

4 表示器の電源を入れる



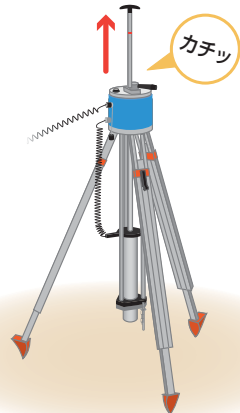
表示器の背面にある電源スイッチを左に押し、電源を入れます。

5 測定モードを選択する



表示器の「モード」キーを押し、測定モードを選びます。「CBR」「qc」「Φ」「c」「k30」が選べます。

6 ランマーをセットする



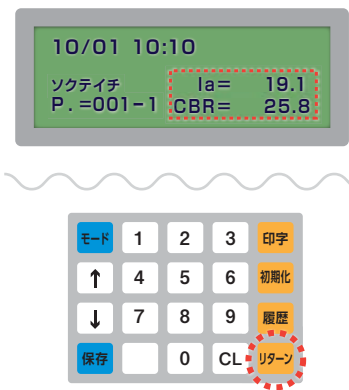
ランマー引き上げ取手を「カチッ」と音がするまで引き上げます。
(勢いよく引き上げ過ぎると機体の破損につながりますので注意してください。)

7 ランマーを落下させる



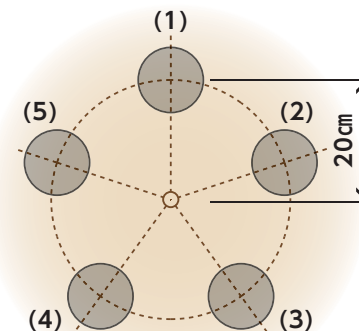
本体上部のランマー落下レバーを速やかに左に廻し、ランマーを落下させます。
(ゆっくり廻すと正しく測定できません。)

8 データを確定する



表示器に Ia 値と測定モード値が表示されますので、「リターン」キーを押してデータを確定します。(明らかに異常な値であれば、「リターン」を押さず、再度測定してください。)

9 ⑥～⑧を5箇所で行う



1 測定ポイントにつき、図のように5箇所測定を行います。
(データは5箇所分まで1測定ポイント分として保存されています。〈例〉[001-1]～[001-5]がセット)

- 測定ポイントは平坦な場所を選びます。(平坦な場所が見つかりにくい場合は、地盤面を乱さぬ程度に整形するか、標準砂等を薄く散布して平坦に仕上げます。)
- 1 測定ポイントにつき、5回測定せずに電源を切ると、その測定ポイントのデータは保存されません。5回未満でデータ保存をされる場合は、「保存」キーを押してください。
- データは、最初の測定ポイントで測定した日付で記録されていきます。(仮に測定が数日間に渡っても、データ日付は最初の測定日のままです。日付をクリアするにはデータを消去する必要があります。詳しくは、裏面右下をご覧ください。)

【印字】

1 表示器とプリンターを接続する

表示器とプリンターを接続ケーブル (RS232C) で接続します。

2 電源を入れる

プリンター：電源ボタンを約5秒間押し、電源を入れます。
表示器：背面にある電源スイッチを左に押し、電源を入れます。

3 「印字モード」に切替える

表示器の「印字」キーを押します。画面に上図の文章が表示されたことを確認します。

4 印字する

印字の場合は「リターン」キー、印字しない場合は「CL」キーを押します。
(特定のデータだけを選んで印字することはできません。)

① 2014/10/01 11:11:11
② ソクテイビ 10/01 10:10
③ P=001-5

No	Ia	CBR
1	19.9	27.1
2	19.2	26.0
3	19.2	26.0
4	19.0	25.7
5	19.3	26.2
④ AVE	19.3	26.2
⑦ MAX	19.9	27.1
⑧ MIN	19.0	25.7

① 印字した日付
② 最初の測定ポイントを測定した日付
③ 「第1測定ポイントの5回測定分のデータ」
④ 1～5点までのIa値測定データ
⑤ 1～5点のCBR値測定データ
⑥ 5点測定データの平均値
⑦ 5点測定データの最大値
⑧ 5点測定データの最小値

【データの消去】

表示器の電源が入った状態で「初期化」キーを押します。画面に上図の文章が表示されたことを確認します。
データ消去の場合は「リターン」キー、消去しない場合は「CL」キーを押します。

【測定データ履歴の閲覧】

1

表示器の電源が入った状態で、「履歴」キーを押します。画面に上図の文章が表示されたことを確認します。

2

数字キーを使って、確認したい測定ポイント番号を入力します。(1番の場合は「001」と入力します。) ↑↓キーで、順に測定結果、平均値、最大値、最小値が表示されます。「CL」キーで履歴の閲覧を終了します。

【データ日付に関する注意事項】

データは最初の測定ポイントを測定した日付で記録されていきます。仮に測定が数日間に渡っても、データ消去を行わない限り、データ日付は最初の測定日のままです。測定日ごとのデータ記録が必要な場合は、その日のデータを印字した後、カセットに記録されているデータを消去し、次の測定を開始してください。

10/1 測定 → 10/2 測定 → 10/3 測定

10/1日付 データ消去
10/2日付 データ消去
10/3日付 データ消去